

あなたと“未来”を見つめます。

U-BANK えいわ



永和信用金庫
第96期 業務報告書

令和7年4月1日～令和8年3月31日



会長
お なが より お
翁長 自夫



理事長
か とう さとし
加藤 聡

会員の皆さま方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに第96期の事業概況と決算のご報告を申し上げるにあたり、平素のご支援とご愛顧に対しまして心より厚くお礼申し上げます。

令和7年度の日本経済は、緩やかな回復基調が継続する中、物価上昇が加速しましたが、個人消費は賃金上昇や雇用拡大により底堅く推移しました。大阪では55年ぶりとなった大阪・関西万博が、約6か月間にわたり開催され盛況のうちに幕を閉じましたが、経済波及効果は、業種により限定的なものとなりました。

地域のお取引先企業におかれましては、人材確保、コスト増、脱炭素対応、デジタル化といった多様化する経営課題に加えて、金利上昇や円安の進行等により先行きの不透明感は増しつつあります。

このような情勢の中、当金庫では、お客さまの身になって考え、お客さまとの対話を重ねることで、実効性の高いソリューション提供に努め、長期継続的な関係構築に努めました。

その結果、預金の期末残高は6,466億円、貸出金の期末残高は3,139億円となりました。収益面では経常利益は14億53百万円、税引後当期純利益は10億18百万円を計上し、令和7年度も安定した収益を確保することができました。

経営の健全性を示す自己資本比率も12.12%と前年度比0.30ポイント上昇し、国内基準である4%を大きく上回る水準を維持しております。

令和8年度は、より一層お客さまの経営課題に関する理解や信頼関係を深め、金融・非金融の両面において効果的なお手伝いをすることで、メインバンク機能を強化し、地域企業の価値向上に貢献してまいります。

永和信用金庫は、地域になくってはならない存在「頼りがいのある良きパートナーとしての信用金庫」をめざし、持続的に成長できる金庫となるよう、役職員が一丸となって取り組んでいく所存です。

皆さまには、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

CONTENTS

ごあいさつ.....	1	貸借対照表.....	7
経営理念・行動指針.....	2	損益計算書／剰余金処分.....	8
1年間の歩み／業績ハイライト.....	3	金庫概要.....	9
事業の概況／庶務の概要.....	5	U-BANKネットワーク.....	10
内部統制システムの概要／預金・貸出金の現況.....	6		

経営理念

私たちは、地域金融の担い手として誇りをもち、
お客さまとの共感と信頼を大切にし、
健全経営を軸に創意と活力のある金庫をめざす。



永和信用金庫のイニシャル“E”をモチーフにしたこのマークは、地域社会をやさしく抱擁し、未来へ大きく成長・挑戦していこうとする当金庫の姿勢をダイナミックにシンボリックに表現しています。

行動指針

創造する心

何ごとにも創造的に取り組み、挑戦する活力を持とう。

柔らかな視座

常にお客さまの身になって考え、誠実に行動しよう。

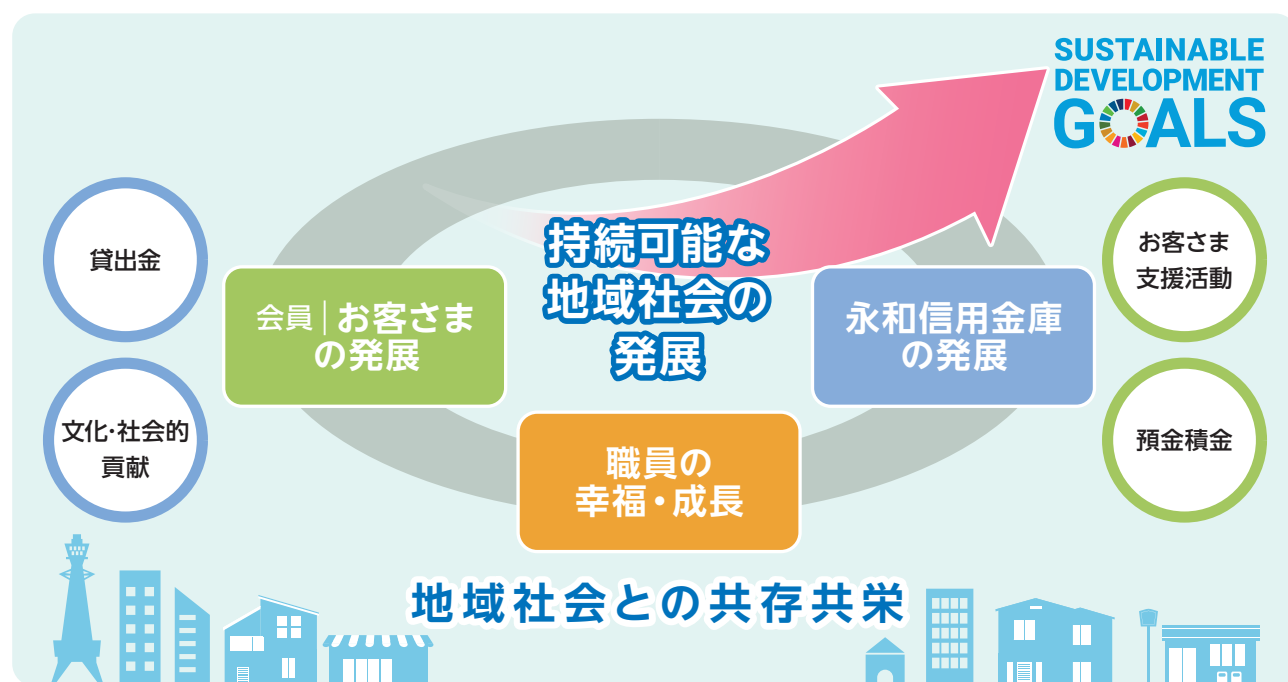
新時代への感度

情報感度を高め、新時代に対応するセンスを身につけよう。

確かな品質

高品質の商品とサービスを確実に、迅速に提供しよう。

U-BANK えいわ がめざすもの



永和信用金庫は、貸出先数における製造業の比率**全国1位**^{*}

モノづくりのまち「大阪」。そんな地域で長年日本のモノづくりを支える製造業と共に成長してきた結果、貸出先数における製造業の比率は全国の信用金庫で1位です。

貸出先数における卸売・小売業の比率は**全国4位**^{*}

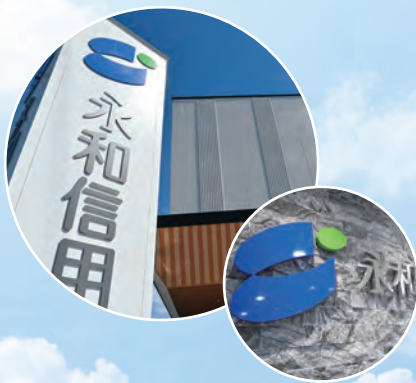
大阪は言わずと知れた「商人のまち」でもあります。地域経済の発展と共に「商い」を支えてきた結果、永和信用金庫の貸出先数における卸売・小売業の比率は全国4位です。

^{*}いずれも信用金庫比較。令和7年3月末時点の調査。

頼りがいのある良きパートナー をめざして

“「和」を以って「永」久に市民の皆さまと共に栄える”という想いのもと、永和信用金庫は、昭和6年の創業以来、金融サービスを通じて経済活動を支えるインフラとしての機能を発揮するだけでなく、「Face to Face」でお客さまに寄り添い、創意工夫を重ねながらお客さまや地域の課題解決に取り組んでまいりました。

これからも、地域と共に歩む“頼りがいのある良きパートナー”として地域やお取引先の持続的な発展に貢献できるよう役職員一同、一丸となって取り組んでまいります。



1年間の歩み

令和7年6月 Uねっとアプリ支店を開店

非対面型のインターネット支店「Uねっとアプリ支店」を開店し、ご来店不要で口座開設や各種お手続きが可能となりました。



令和7年6月 新マスコットキャラクター誕生!!

地域の皆さまに末永く愛していただけるよう一般公募し、最優秀作品の「えいワン」が新マスコットキャラクターに決定しました。今後様々な場面で当金庫の取り組みをPRしていきます。



令和8年3月 浪速警察署と「特殊詐欺等の被害防止に関する協定」を締結

今後も関係機関等との連携を強化して、地域の安全に貢献してまいります。



お取引先向けセミナー開催

全店のお取引先対象のセミナーを1回、営業店・エリアごとのセミナーを10回開催いたしました。



異業種交流会（えいわ経営者クラブ、永研会）の開催

令和7年度中に「永研会」5回、「えいわ経営者クラブ」3回の例会を開催し、お取引先や金庫との交流を深めていただきました。



業績ハイライト

● 預金残高

646,654 百万円
(単位：百万円)

94期 (令和5年度)	644,518
95期 (令和6年度)	643,992
96期 (令和7年度)	646,654

● 貸出金残高

313,918 百万円
(単位：百万円)

94期 (令和5年度)	321,460
95期 (令和6年度)	315,133
96期 (令和7年度)	313,918

令和7年4月 大阪メトロオンデマンドバス 乗降場所設置および ネーミングライツ取得

経路線や時刻表がない予約運航型のバス「オンデマンドバス」の乗降場所設置およびネーミングライツ取得を当金庫の店舗前6カ所で実施しました。



令和7年5月 「えいわ奨学会」による 奨学金給付事業開始

永和信用金庫が母体となった「一般財団法人えいわ奨学会」による奨学金給付事業を開始。経済的事由により修学が困難な学生を応援しています。



令和7年5月 日本橋ストリートフェスタの 運営お手伝い

当金庫本店の目の前で実施されるコスプレ祭り「日本橋ストリートフェスタ」運営のお手伝いとして、ボランティアスタッフ派遣、本店設備を活用した会場提供など、地域の皆さまと共に「まち」の活性化に取り組みました。



各種団体への寄附

社会福祉団体や地球環境保護団体、スポーツ振興への協力など、地域のお役に立つよう様々な団体への寄附を継続的に実施しています。



この「まち」と共に

地域社会との共存共栄を前提とする信用金庫にとって、地域の発展、活性化は最大の使命といえます。

永和信用金庫は、ひととの繋がりを大切に、まちにしっかりと根を下ろし、地域の課題解決に取り組んでいます。まちで共に生きる当事者として、豊かで活気ある地域社会づくりとその未来のため、これからも尽力してまいります。



○ 当期純利益

1,018 百万円

(単位: 百万円)

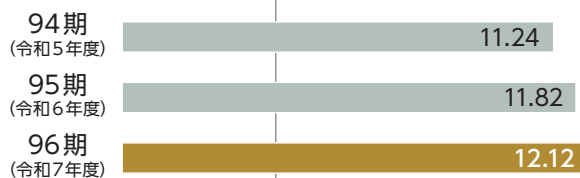


○ 自己資本比率

12.12%

(単位: %)

国内基準 (4%)



事業の概況

●資産・負債

預金においては、安定した資金の調達となる定期預金で56億円、普通預金で2億円増加したことにより、総預金残高としては6,466億円と前年度比26億円増加しました。預金者別では、法人預金は86億円増加したものの、個人預金は60億円減少しました。

貸出金においては、長期資金である証書貸付が57億円減少、また割引手形が13億円減少しました。その結果、貸出金残高は、前年度比12億円減少の3,139億円となりました。貸出金以外の運用につきましては、預け金が前年度比73億円増加の1,900億円に、有価証券が14億円減少し、1,573億円となりました。以上の結果、総資産は、前年度に比べ28億円増加し、6,831億円となりました。

●収益

良質な資金調達と効率的な資金運用、コスト削減に努め、引き続き経営の健全性向上に取り組みました。収入の根幹となる貸出金の期中平残は減少したものの、貸出金利回りが上昇したため、貸出金利息総額は6,732百万円となり、前年度比593百万円の増収となりました。有価証券利息配当金は117百万円増収の1,978百万円、預け金利息は473百万円増収の1,034百万円となり、資金運用収益は1,197百万円増益の9,814百万円となりました。資金調達費用である預金利息は、利回り上昇の影響で938百万円増加の2,092百万円となりました。それらの結果、資金利益は259百万円増益の7,718百万円となりましたが、信用コストが増加したことにより、経常利益は6百万円減益の1,453百万円となりました。税引後当期純利益は、前年度比68百万円減益の1,018百万円となりましたが、令和7年度も安定した収益を確保することができました。

●自己資本比率

自己資本比率は、前年度に比べ0.30ポイント上昇し、12.12%となりました。引き続き、国内基準の4%を大幅に上回る水準を確保しています。

庶務の概要

●第95期通常総代会 令和7年6月20日(金)

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 会員除名の件
- 第3号議案 理事4名並びに監事1名選任の件
- 第4号議案 退任役員に慰労金贈呈の件

●理事会・監事会等

令和7年度中に理事会を18回、監事会を13回、常務会を24回開催し金庫の重要案件を審議しました。

●登記事項

- 令和7年 4月 1日 出資の総口数及び払込出資総額の変更
- 令和7年 9月 1日 代表理事の就任

●役員変更

- | | | |
|------------|-------|---------------------|
| 令和7年 6月20日 | 石坪 和展 | 常勤理事に就任 |
| 令和7年 6月20日 | 尾上 剛司 | 常勤理事を退任、
常勤監事に就任 |
| 令和7年 6月20日 | 井崎 研二 | 常勤監事を退任 |
| 令和7年 9月 1日 | 翁長 自夫 | 理事長を退任、
会長に就任 |
| 令和7年 9月 1日 | 加藤 聡 | 理事長に就任 |

●その他の主な事項

- 令和7年 6月20日 理事の委嘱変更
- 令和7年 9月 1日 理事の委嘱変更
- 令和7年10月 1日 理事の委嘱変更
- 令和7年11月 1日 理事の委嘱変更



内部統制システムの概要

当金庫は、信用金庫法第36条第5項第5号及び信用金庫法施行規則第23条に則り、平成27年6月8日の理事会において内部統制に関する体制の整備について、「内部管理基本方針」として以下の通り決議しております。

- ① 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- ② 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
- ⑥ 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項
- ⑦ 監事の職務を補助すべき職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑧ 監事への報告に関する体制
- ⑨ 監事への報告を行った者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑩ 監事の職務の執行について生ずる費用の前払い又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- ⑪ その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

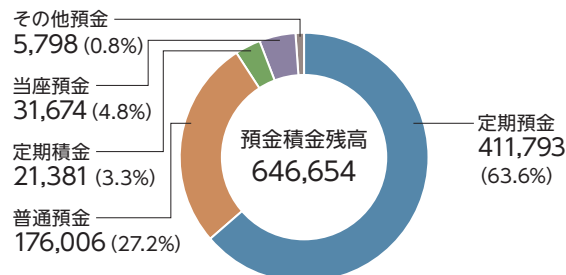
なお、上記の運用状況については、監事による規程等の整備及び運用状況等の定期的な監査を受け、適正の確保に努めております。

預金・貸出金の現況

(令和8年3月31日現在)

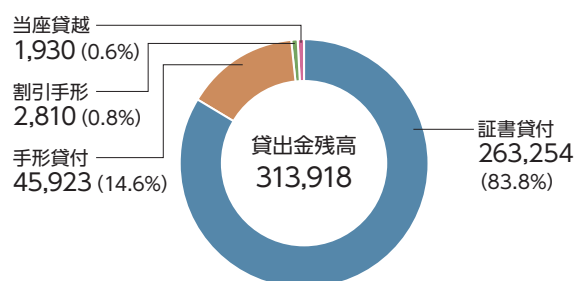
● 預金科目別構成比

(単位：百万円、構成比：％)



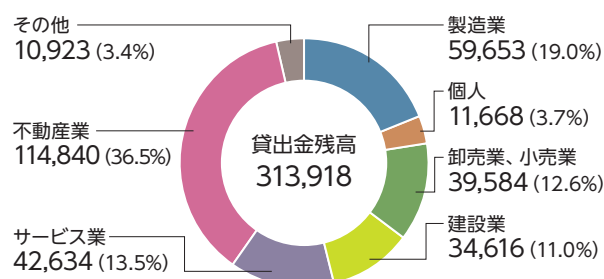
● 貸出金科目別構成比

(単位：百万円、構成比：％)



● 業種別貸出金残高内訳

(単位：百万円、構成比：％)



● 経営諸比率

	第94期 (令和6年3月期)	第95期 (令和7年3月期)	第96期 (令和8年3月期)
総資産経常利益率	0.18%	0.21%	0.21%
総資産当期純利益率	0.12%	0.15%	0.14%
総資金利鞘	0.31%	0.30%	0.29%
単体自己資本比率	11.24%	11.82%	12.12%

貸借対照表

● 第96期 [令和8年3月31日現在]

(単位:百万円)

科 目	金 額
資産の部	
現金	5,484
預け金	190,008
有価証券	157,383
国債	12,571
地方債	20,795
社債	48,376
株式	5,204
その他の証券	70,436
貸出金	313,918
割引手形	2,810
手形貸付	45,923
証書貸付	263,254
当座貸越	1,930
外国為替	108
外国他店預け	69
取立外国為替	38
その他資産	4,725
未決済為替貸	262
信金中金出資金	3,012
前払費用	16
未収収益	815
その他の資産	618
有形固定資産	9,335
建物	4,831
土地	3,850
リース資産	76
建設仮勘定	5
その他の有形固定資産	570
無形固定資産	206
ソフトウェア	163
その他の無形固定資産	42
前払年金費用	2,268
繰延税金資産	3,549
債務保証見返	1,887
貸倒引当金	△ 5,690
(うち個別貸倒引当金)	(△ 4,750)
資産の部合計	683,188

科 目	金 額
負債の部	
預金積金	646,654
当座預金	31,674
普通預金	176,006
貯蓄預金	169
通知預金	1,310
定期預金	411,793
定期積金	21,381
その他の預金	4,318
借入金	118
借入金	118
その他負債	3,764
未決済為替借	603
未払費用	1,854
給付補填備金	46
未払法人税等	152
前受収益	552
職員預り金	51
リース債務	84
資産除去債務	177
その他の負債	242
役員退職慰労引当金	112
その他の引当金	100
偶発損失引当金	79
睡眠預金払戻損失引当金	21
再評価に係る繰延税金負債	255
債務保証	1,887
負債の部合計	652,893
純資産の部	
出資金	2,284
普通出資金	2,284
利益剰余金	36,362
利益準備金	2,289
その他利益剰余金	34,072
特別積立金	25,150
当期末処分剰余金	8,922
処分未済持分	△ 0
会員勘定合計	38,646
その他有価証券評価差額金	△ 8,485
土地再評価差額金	134
評価・換算差額等合計	△ 8,351
純資産の部合計	30,294
負債及び純資産の部合計	683,188

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

●第96期 [令和7年4月1日から令和8年3月31日まで] (単位:千円)

科 目	金 額	
経常収益		11,430,266
資金運用収益	9,814,091	
貸出金利息	6,732,806	
預け金利息	1,034,514	
コールローン利息	2,181	
有価証券利息配当金	1,978,042	
その他の受入利息	66,546	
役務取引等収益	625,209	
受入為替手数料	284,298	
その他の役務収益	340,910	
その他業務収益	359,822	
外国為替売買益	2,618	
国債等債券売却益	317,431	
その他の業務収益	39,773	
その他経常収益	631,142	
償却債権取立益	162,472	
株式等売却益	433,508	
その他の経常収益	35,161	
経常費用		9,976,536
資金調達費用	2,095,562	
預金利息	2,066,471	
給付補填備金繰入額	25,608	
借入金利息	3,158	
コールマネー利息	31	
その他の支払利息	292	
役務取引等費用	289,412	
支払為替手数料	71,624	
その他の役務費用	217,787	
その他業務費用	771,004	
国債等債券売却損	713,950	
国債等債券償還損	48,889	
その他の業務費用	8,164	
経費	5,451,510	
人件費	2,992,169	
物件費	2,181,063	
税金	278,277	
その他経常費用	1,369,046	
貸倒引当金繰入額	1,211,413	
貸出金償却	16,779	
株式等売却損	27,218	
その他の経常費用	113,634	
経常利益		1,453,729
特別損失		62,680
固定資産処分損	2,036	
減損損失	60,644	
税引前当期純利益		1,391,049
法人税、住民税及び事業税	385,721	
法人税等調整額	△ 12,888	
法人税等合計		372,833
当期純利益		1,018,216
繰越金(当期首残高)		7,938,843
土地再評価差額金取崩額		△ 34,295
当期末処分剰余金		8,922,764

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分

●第96期 [令和7年4月1日から令和8年3月31日まで] (単位:円)

当期末処分剰余金	8,922,764,430
積立金取崩額	5,460,000
利益準備金限度超過取崩額	5,460,000
合 計	8,928,224,430

これをつぎのとおり処分いたします。

剰余金処分額	45,679,253
普通出資に対する配当金	年2% 45,679,253
繰越金(当期末残高)	8,882,545,177

以上のとおりご報告いたします。

永和信用金庫

会 長	翁 長 自 夫
理 事 長	加 藤 聡
常 務 理 事	木 村 孝 (※1)
常 務 理 事	佐 々 布 晃
理 事	仲 喜 之
理 事	八 嶋 宏 佳
理 事	松 山 忠 司
理 事	丸 山 展 克
理 事	石 坪 和 展
非常勤理事	上 田 純 (※1)

上記各項を監査の結果、正確なることを認めます。

監 事	尾 上 剛 司
非常勤監事	木 村 文 俊 (※2)
非常勤監事	宮 本 佳 宥 (※2)

※1 常務理事 木村 孝、理事 上田 純は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※2 監事 木村 文俊、宮本 佳宥は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

なお、第96期の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びにその付属明細書については、信用金庫法第38条の2第3項目の規定に基づき、みのり監査法人の監査を受け、適正である旨の監査報告書をいただいております。

金庫概要

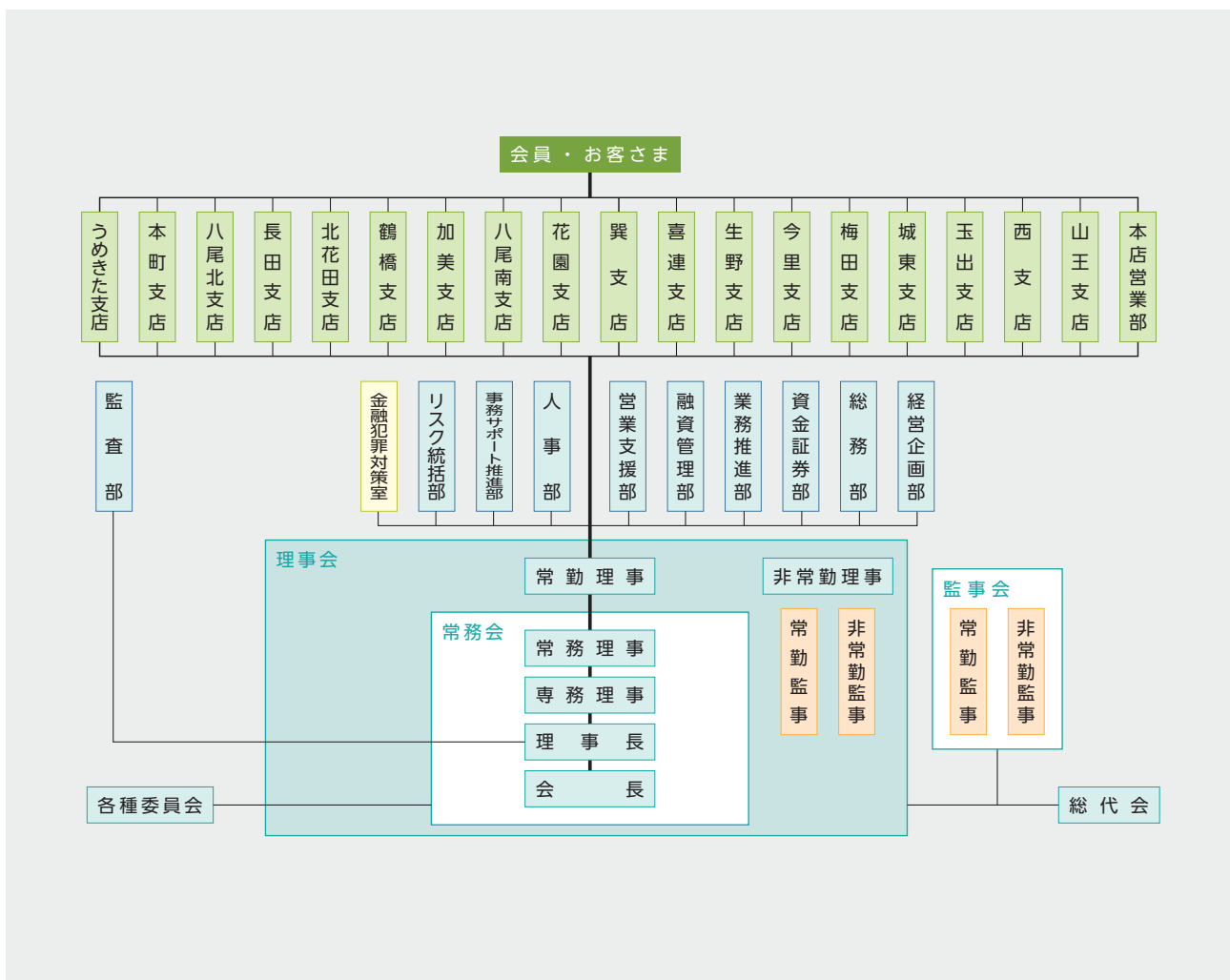
(令和8年3月31日現在)

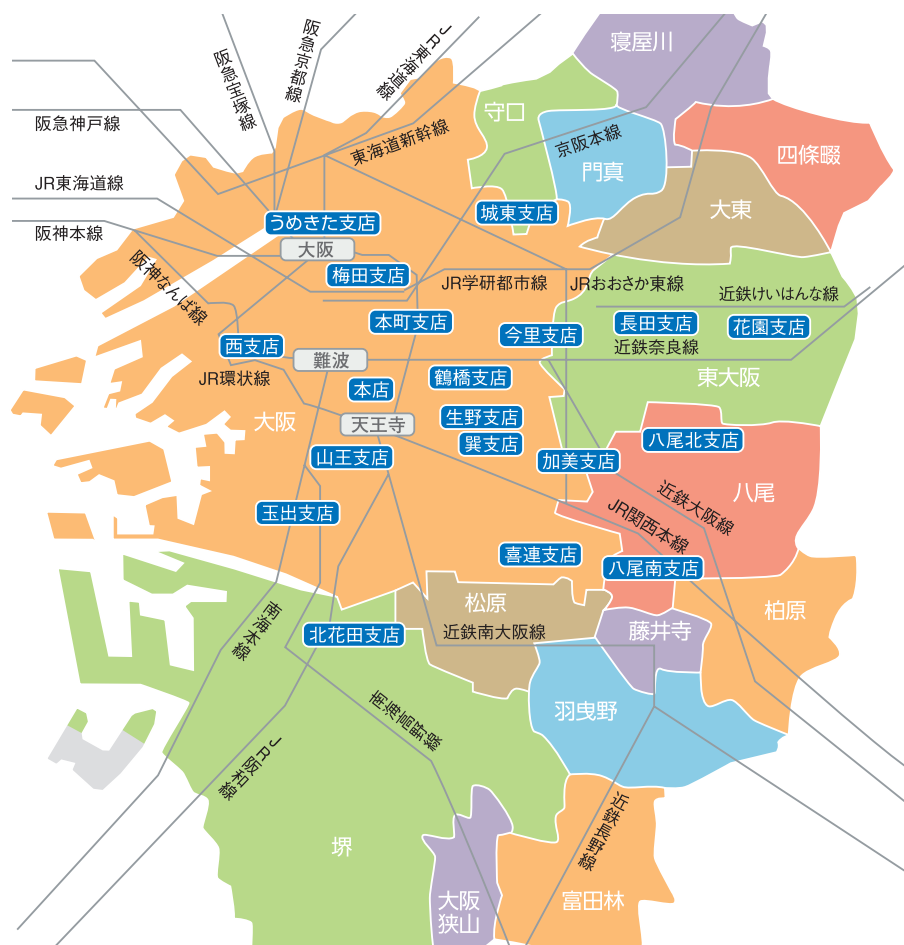


本店所在地	大阪市浪速区日本橋4-7-20
創 立	昭和6年9月21日
出 資 金	22億84百万円
会 員 数	20,601人
預 金 残 高	6,466億54百万円
貸出金残高	3,139億18百万円
店 舗 数	19店舗
役 職 員 数	361人
営 業 区 域	大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、藤井寺市、羽曳野市、 柏原市、守口市、門真市、堺市、寝屋川市、大東市、富田林市、 四條畷市、大阪狭山市

● 永和信用金庫の業務組織図

(令和8年3月31日現在)





店舗一覧

店番	店 名	住 所	T E L
	本 店	大阪市浪速区日本橋4-7-20	06-6633-1181
001	本 店 営 業 部	大阪市浪速区日本橋4-7-20	06-6633-1295
002	山 王 支 店	大阪市西成区岸里東1-4-20	06-6657-0145
003	西 支 店	大阪市西区九条南2-1-6	06-6581-4461
004	玉 出 支 店	大阪市西成区玉出中2-13-34	06-6661-1321
005	城 東 支 店	大阪市城東区関目3-7-10	06-6931-0256
006	梅 田 支 店	大阪市北区西天満5-16-3	06-6312-0321
007	今 里 支 店	大阪市東成区大今里南6-4-4	06-6976-0291
008	生 野 支 店	大阪市生野区林寺5-12-12	06-6718-2121
009	喜 連 支 店	大阪市平野区喜連4-8-56	06-6708-2501
010	巽 支 店	大阪市生野区巽中4-16-18	06-6758-1191

店番	店 名	住 所	T E L
011	花 園 支 店	東大阪市島之内2-9-39	072-963-0151
013	八 尾 南 支 店	八尾市南木の本2-21-8	072-994-0025
014	加 美 支 店	大阪市平野区加美北5-12-27	06-6794-2331
015	鶴 橋 支 店	大阪市生野区鶴橋3-8-22	06-6731-7751
016	北 花 田 支 店	堺市北区奥本町1-42	072-252-6221
017	長 田 支 店	東大阪市荒本新町9-10	06-6784-1821
019	八 尾 北 支 店	八尾市新家町4-49-7	072-924-5901
020	本 町 支 店	大阪市中央区本町1-4-8	06-6263-6820
021	う め き た 支 店	大阪市北区大淀中2-8-12	06-6458-8071
077	ひねっと&アプリ支店 (非対面型インターネット支店)	大阪市浪速区日本橋4-7-20	0120-14-1643

事務所

THE EIWA SHINKIN BANK グランフロント大阪オフィス	大阪市北区大深町3-1 コラボオフィスK837	06-6136-6173
--	----------------------------	--------------

THE EIWA SHINKIN BANK JAMBASE オフィス	大阪市北区大深町6-38 JAMBASE 5F 501号室	06-6131-5499
---------------------------------------	----------------------------------	--------------